

無量寿

発行者 金剛山 福昌寺
214-0008
神奈川県川崎市多摩区
菅北浦5-3-1
TEL 044 (944) 3426
FAX 044 (944) 0931



福昌寺公式ホームページが完成しました
fukushouji.net
検索

「心を合わせて力を一つに」

青葉が繁り、境内は例年と変わらない初夏の風景ですが、コロナウイルスが世界中に広がり、感染の恐怖に社会全体が疲弊しています。

天台宗では「忘己利他・一隅を照らす」を旗印に、心を合わせて力を一つに邁進し、この事態を乗り越えましょうと呼びかけています。境内の掃除をしていると、密を避けながら、お参りに来られる方をお見かけします。ご本尊様・ご先祖様にご手を合わせ、生かされてある事に感謝をし、コロナ禍の終息を願っているのだからと思えました。

そんな中で心の萎縮も大きな問題です。今までと異なる生活を強いられ、失ったものもありますが、立ち止まって考える時間を手に入れた人も多いのではないのでしょうか。

今、我々に求められているのは、冷静になり、約束事を守り、他を敬い、一人一人が出来ることを実践すること。それが「一隅を照らす」となるのだからと思っています。皆さまとお会い出来る日を心待ちにしております。また、例年通りのお参りやご先祖様のご供養を受付けております。叶わない方はご忌憚なくご相談下さい。

今年も境内に鯉のぼりをあげました

住職 拝

夏の施餓鬼会の執行に向けて

開催が心配される恒例の施餓鬼会ですが、意義として、餓鬼の救済をし、現世での利益を頂くことです。歴史的にみましても京都の大火事や応仁の乱など災害や疫病流行の際に修されている伝統的な法要です。未知のウイルスの終息を願い、また非常事態だからこそ、ご先祖様へのご供養は欠かすことは出来ません。

事態推移を注視し、どのような形での執行が良いのかを判断し、追って郵便にてご案内いたします。また、施餓鬼法要においての塔婆の申し込みは例年通りお受けいたします。(7月発送予定) 塔婆の裏には梵字でオンボッケンと記します。この地を浄めるという意味です。一刻も早い終息を願い皆さままで建立頂けましたらと存じます。

当山でのウイルス感染予防対策

※5月8日現在

- ①お線香の授与は玄関の外となりました。受付所は変更ありません。
- ②法事の際は風通りの良い本堂から直接出入りして頂き、マスクを着用し、席の間隔を広くとって行います。(除菌スプレー常備)
- ③法事後のお斎(後席)は間隔を広くとり3密を避けて行います。ご希望で代わりとなるお持たせ(お弁当)の手配を受付けております。
- ④ご先祖様の年回忌法要を変わらずに受付けておりますが、諸事情で叶わない方はお気軽にご相談下さい。
- ⑤状況に合わせて変更がございます。ご理解ご協力お願い申し上げます。

「妖怪アマビエ」



アマビエは江戸時代末期に肥後国(現熊本県)に現れたとされる半人半魚の妖怪です。「疫病が流行することがあれば私の姿を描いた絵を人々に見せよ」と伝え、海へ消えたそうです。アマビエの絵は当時の瓦版で多くの人々に伝播しました。当寺の掲示板に載せた所、反響が大きく、その様子は中外日報(5月8日)にも掲載されました。(詳細はホームページで紹介)

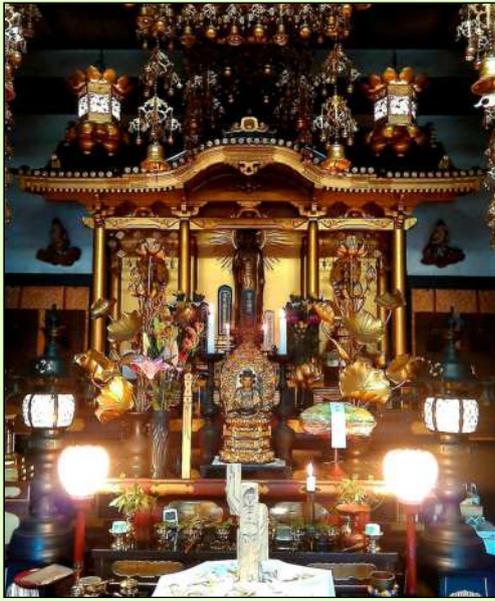
釈迦如来還山慶讃法会

令和の始めに麗らかな法要無事円成す

昨年の旧暦の花まつり（5月12日大安）に、一昨年から仏師の林雄一師に修復を依頼していた釈迦如来像の勧請法要を執り行いました。当日は本堂から溢れる程の方にお参り頂きました。多くのご縁に支えられて障り事なく当会を執り行えたこと改めて御礼申し上げます。本堂内にお

参りの際には是非手を合わせ下さい。
南無帰命頂礼大恩
教主釈迦牟尼如来。

- | |
|---------|
| 次第 |
| 先 入堂讃 |
| 次 導師登礼盤 |
| 次 唄 匿 |
| 次 散 華 |
| 次 対 揚 |
| 次 表 白 |
| 次 造 仏 |
| 次 和 讃 |
| 次 諸天讃 |
| 次 般若心経 |
| 次 後 唄 |
| 次 導師降礼盤 |



修復された釈迦如来像。作は千七百年頃と推定



法要を終えて記念写真



東山田 正福寺住職 奥村良玄師と中野島 観音寺副住職 塚田亮文師にご出仕頂きました



諸天讃（声明）、釈迦如来誕生和讃詠歌の間には林師に誕生仏の造立をして頂きました



客殿では「円空仏彫刻にチャレンジ！」が林師のもと開催されました



光明会館では「点描曼荼羅でアート」！講師は林OJAS聖子さん。今年も計画中です！

山内短信

■客殿が椅子席になりました。足の心配なくお休み下さい。

■春と秋の彼岸会の開始時刻が十一時から十時



から十時に変更になりました。中日に塔婆の開眼をしております。ご先祖様に建立下さい。



■林OJAS聖子さんによる点描曼荼羅会を開催。子ども大人も楽しめる会となりました。点

描とは字の如く点を打ち描くことを言います。

■毎年恒例の花まつり經典読誦会を開催。今年のゲストは普在住のハーモニカ奏者さほひかるさん。素敵な演奏



をありがとうございます。子どもたちのお参りが増えてきました。有り難いことです。

■福寿院秀室妙文大姉（先代住職内室フミ）の三回忌を無事に営むことが出来ました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

■多摩消防団稲田分団菅班の安全祈願法要を執り行いました。

■神奈川天台

仏教青年会の山家会が当山会場で厳修されました。山

家会とは伝教大師最澄様の命日の報恩供養です。



■境内駐車場の車止めを整備完了。安全第一でお越し下さい。



■福昌寺精進料理会が二十八回目を迎える。十方施主罪障消除福寿増長。

■坐りびと・旬粥の延べ参禅者数は七百八十六人。遠近よりお参りありがとうございます。

■円空仏彫刻会の御守り袋の新品が完成。従来の緑と茶の二色からお選び下さい。



■施餓鬼会厳修。年々暑くなっている気がいたします。体調に気を付けてお参り下さい。

■十五夜坐禅会盛大に開催。今年も筑前琵琶奏者の藤高理恵子さんをゲストに迎え、演目は古事記。五十名程の参加。十五



夜のお団子は格別に美味しい。すすきのトゲトゲは邪気払い。藤高さんファーストシングルの『うたげうた』好評発売中。副住職著書の『簡単！お寺ご飯』（徳間書店）がお蔭様で重版となりました。御礼申し上げます。

■【墓地のお参りのお願い】タヌキによるフン害やカラスに悩まされています。お墓参りの際に供えた飲食物は墓前で個人を偲びながら、お召し上がり下さい。もしくは全て（空いていない缶、瓶、ペットボトルを含む）お持ち帰り下さい。ご理解ご協力をお願い致します。



お塔婆について

年回法要や春・秋の彼岸会、夏の施餓鬼会にて建立頂いております。お塔婆という言葉はインドの「ストウパー」という言葉の音写で、お釈迦様入滅の際にご遺骨（灰）とご遺髪を細長い塔のようにして供養したものが起源だそうです。時代と共に形式は変わりながら、現代に伝わります。塔婆の表には梵字で「キヤ・カ・ラ・バ・ア」と書かれます。これは五輪という古代インドの万物を構成する五つの要素（空・風・火・水・地）を表わします。余談ですが、剣豪宮本武蔵の兵法書は五輪書といい五巻から成ります。裏面には梵字でオンボッケンという真言を書きます。この地を浄めるといいう意味です。また、塔婆の下端が鋭く尖っているのは、地にさすためです。地にさすと一年もすると風化し土と一体となります。かつては土葬だったため、塔婆を建立し地を浄めるといいう供養は事理共に、解り易い形だったのだと思います。



お寺離れや散骨と耳にしますが、この現世でどうしようもなく辛いことがあった時に、手を合わせ、すがることが出来るご先祖様の霊域があることは大変有難く心強いことと思えます。今も昔も、そして先々も決して変わることもなくご先祖様の命を頂いて私たちはいるのですから。

今年度年中行事御案内

◎第二十九回精進料理会

春の筍の時期に開催予定。(参加費二千円)
食事作法「斎食儀」読誦や「洗鉢」を体験し、当山特製の精進料理を召し上がって頂きます。

◎円空仏彫刻にチャレンジ！御守り袋に入る千体仏
次回は二月二日(日) 十四時(参加費四千元)
円空仏の彫刻会です。彫刻終了後にご希望の方には開眼法要(別途志納金三千元)を執り行います。

◎坐りびと・旬粥(お粥と坐禅会)
次回は二月十六日(日) 十七時半(参加費千五百円)
坐禅止観をして、季節ならではの旬のお粥を頂く会です。今回は「春の味噌粥」をご用意いたします。

◎春彼岸会 三月二十日(金) 十時
先祖供養を行います。彼岸塔婆供養を受けております。

◎花まつり 四月四日(土) 十三時
釈迦誕生会とも呼び、お釈迦様の誕生をお祝いし、誕生仏に甘茶をかけます。今年も催し物を考えております。

◎施餓鬼会 八月六日(木) 十五時
先祖供養を行います。施餓鬼塔婆供養を受けております。

◎十五夜坐禅会 十月一日(木) 十七時半
本堂で坐禅止観をして、お月見をします。(参加費千円)

◎秋彼岸会 九月二十二日(月) 十時
春と同様。

◎参加希望の方はご連絡お待ちしております。
継続開催行事の次回以降の日程は追って連絡いたします。



円空観音像 模刻いただきます



十五夜の御供物

2019年掲載紙一覧

- ・菅社協だよりNo. 30 (2/1)
- ・東京天台第47号 (春彼岸)
- ・タウンニュース (4/5)
- ・タウンニュース (4/26)
- ・タウンニュース (9/6)
- ・タウンニュース (9/20)

誌面は客殿入口に置いてありますので来寺の際には是非閲覧下さい。

個人墓 永代供養墓受付中

個人墓は大小区画様々を御用意しております。また、多様なケースに対応出来ます。また、永代供養墓に關しても事務所にお気軽にお尋ね下さい。

令和二年年回表

一周忌	平成三十一・令和元年
三回忌	平成三十年
七回忌	平成二十六年
十三回忌	平成二十年
十七回忌	平成十六年
二十三回忌	平成十年
二十七回忌	平成六年
三十三回忌	昭和六十三年
五十回忌	昭和四十六年

◎先祖様の追善供養を致しましょう

編集後記

時代に合わせ、お寺のホームページが出来上がりました。様々お知らせさせて頂きまますので、ご周知頂けましたら幸いです。子年は十二支の始めです。皆さま方の御多幸を祈念申し上げます。

(副住職記) 合掌